

第1回有識者分科会での意見概要

項目	主な意見（第1回）
将来像	○20年、50年先の関西のあるべき姿を可視化し、重点化すべき分野・施策を考えるべき。
	○世界の中で関西をどのようなメガリージョンとして創造するのか、という視点が必要。
	○関西を新たな価値を創造する圏域にするため、考え方を徹底的に見直し、グレートリセットすることが必要。（問題解決型ではなく都市創造のソリューション）
関西ブランド	○関西で何を売りにしていくのか、エリア全体で大きな目標を共有することが必要。
	○魅力が競争力、この中身を真剣に詰めないといけない
	○関西の各地域がもっている地域特性である「多様性」を「連携」させることが重要。
対外戦略	○アジアとは分野ごとに連携地域を模索する必要がある。
	○世界とグローバルな連携・競争関係を広域連合が持つのも重要。
	○世界の都市・分野に対し明確なターゲティング・マーケティングを持つ戦略性・スピード感ある産業・人材育成が必要。
機能	○地域ごとに付加価値を創造するプロデュース機能が大事。
	○どのような連携の制度をつくり、どのような連携の質を保つのが計画には重要。
ガバナンス	○連合がどういったガバナンスを作っていくか重要。市町村からの信頼関係が課題。
政策立案機能の強化	○伝統を活かした再創造のため、文化政策と産業政策を一体化した都市産業政策が必要。
文化	○関西は文化首都圏であるべき。お茶、古典、酒、世界遺産など関西の「ほんまもん」を活かして付加価値をつける広域連携の取組が重要。
	○文化を連合としてどのように考え、具体的に考えていくのか検討が必要。
産業	○中小企業を活かす新たな産業構造が必要
農林水産業	○都市と農村、関西の様々な地域的個性・特性を共通のコンセプトでまとめることが課題。
	○中山間地域が壊滅しており、農業が産業として成立することが重要。
	○農業と林業の再生は日本の大きなポイント。
教育・人材育成	○世界に通用する人材、高度なプロデュース機能をもつ人材などの幅広い人材育成が必要。
	○若く優秀な才能を持っている人材は、関西を離れて世界に拠点を置いている。キーパーソンを育成していかないといけない